



いばらき 農業委員会だより

第192号
令和8年9月発行



総会の様子

厳しい暑さが続いた今年の夏も、ほぼ峠を越した感がありますが、農家の皆様方におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。さて、過般7月21日に開催されました第26期茨木市農業委員会の初総会におきまして、会長にご推挙賜り、その重責を務めることになりました。その責任の重大さを痛感し、身の引き締まる思いでございます。さて、農業者の高齢化や後継者不足が深刻化する中、本市におきましても将来の農地利用の姿を示す地域計画が策定されました。この地域計画は、策定がゴールではなくスタートと捉えて、現在も担い手が未定となっている農地が少なくない中、これからの3年間は、地域での継続的な話し合いを重ね、地域計画を現場の実情に合わせてブラッシュアップし、具体的な行動へとつなげていく重要な局面であると考えております。

このような状況下、本委員会といたしましては、農業委員・農地利用最適化推進委員が現場に通い、農家の皆様の声に耳を傾けながら、農地利用の最適化や新たな担い手の確保・支援に全力を注いでまいります。

一方、都市近郊農業としての強みを活かし、安心・安全な農産物を供給する豊かな農地を次世代へと引き継いでいけるよう取り組んでまいります。結び、農家の皆様をはじめ、関係機関・団体の皆様におかれましては、今後とも新体制の農業委員会活動に、温かいご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます、就任のご挨拶といたします。



茨木市農業委員会

会長 中村正治

会長就任のご挨拶

令和8年度 農業委員会活動計画を決定

4月27日、福岡市長、松本市議会議長、西上茨木市農業協同組合代表理事組合長等を来賓に招き、委員総会を開催しました。

前年度の活動報告とともに、令和8年度茨木市農業委員会活動計画を以下のとおり議決しました。

■ 農地の集積

さらなる効率的な農業経営のため、貸し借りのマッチングによる集積を促進。今年度の新規集積目標を0.8ヘクタールに設定。

■ 遊休農地の解消

農地パトロールや関係機関との連携により遊休農地の発生防止と解消を図る。今年度0.2ヘクタールの解消を目指す。

■ 新規参入の促進

新たな担い手の育成・確保により、新規参入を促進する。



総会の様子

第50回 農業祭

👏 7万人が訪れる農業の祭典!!
品評会への申込み受付中!

まちと里山の交流や市内農産物のPRの場として今年も開催します。品評会入賞者には豪華賞品も。ぜひ自慢の野菜をご出品ください。

開催日時

11月28日(土)
9:30~16:00(開会式は9時~)
11月29日(日)
9:30~15:00

会場

茨木市中央公園グラウンド
(市役所北側)



品評会の申込みは
10月9日(金)まで
詳しくはお問い合わせ

農林振興課
☎620-1622

委員短信

農業委員及び農地利用最適化推進委員の任期満了に伴い、次の方々が退任されました。皆様には、農業委員会の事業推進に多大なご尽力をいただき、厚くお礼申し上げます。(敬称略)



中西 壽男
9年在任
(農業委員)



大西 清一
12年在任
(農業委員)



吉田 公俊
6年在任
(農業委員)



小濱 邦臣
9年在任
(農業委員)



西林 肇
3年在任
(農業委員)



中野 勝之
6年在任
(推進委員)

お疲れ様でした



第26期 茨木市農業委員会委員、農地利用最適化推進委員

副会長

森 善 隆

会長

中 村 正 治

農業委員

小 田 由 弘

大 神 平

早 川 訓 男

池 田 洋 一

入 交 享 子

久 保 睦 子

南 野 悟

川 端 稔

谷 山 正 昭

池 尻 芳 文

矢 頭 周

農地利用最適化推進委員

小 川 範 久
第4地区
(安威、福井)

田 所 敏 幸
第3地区
(石河)

中 井 昇
第2地区
(清溪)

西ノ坊 嘉 治
第1地区
(見山)

松 本 好 博
第6地区
(春日、三島、玉櫛、玉島、三宅)

佐 藤 光 義
第5地区
(豊川)

〔委員会構成〕

農業委員 14名

推進委員 6名

農業委員は、役員を除き議席順（右上から左下へ）、敬称略

※専門委員会の構成、農業委員及び推進委員の担当地区については、次号に掲載いたします。

ご就任を祝して

茨木市長

福 岡 洋 一

祝 辞

茨木市議会

議長 松 本 泰 典

この度、第26期茨木市農業委員会委員並びに農地利用最適化推進委員にご就任されました皆様、心よりお祝いを申し上げます。

さて、我が国の農業を取り巻く環境は、食料自給率の課題、農業従事者の高齢化、後継者不足による遊休農地の増加など、多くの課題が山積しております。また、国際情勢や気候の変動などに伴い、肥料や燃料といった農業生産資材の価格が高騰するとともに、収穫量そのものも不安定化している状況でございます。

一方で、本市におきましては、昨年3月、市内42地区において、概ね10年後の地域農業の将来像を描く「地域計画」が策定されました。これにより、今後、各地区で地域の将来を考える機運が徐々に高まっていくことを期待しております。

このような状況のもと、農業委員の皆様、そして推進委員の皆様には、農地利用の最適化を促進し、本市の農業発展のためにご尽力いただきますよう、心よりお願い申し上げます。

市議会といたしましても、農業振興への思いを新たに、明るく活力ある地域社会の構築に向け、一層の努力を重ねてまいります。

結びに、茨木市農業委員会のますますのご発展と、委員並びに推進委員の皆様お一人一人のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

第26期茨木市農業委員会の発足、誠におめでとうございます。

新たに農業委員会委員、そして農地利用最適化推進委員に就任されました皆様方に、心からお祝いを申し上げます。

本市農業は、長年指摘されてきた高齢化や担い手不足という根深い問題に加え、遊休農地の拡大や資材価格の高騰、さらにはコメ価格の不安定化など、多くの困難に直面しております。

こうした課題は一朝一夕に解決できるものではありません。市として長期的かつ計画的に向き合うため、今年度から、概ね10年後のあり方を示した本市農林行政の上位計画の策定を進めております。また、地域農業の10年後の設計図であり「地域計画」は、すでに市内42地区で策定されており、計画の実効性を高めるために継続的なブラッシュアップが必要とされているところです。

持続可能な農業経営を確立するためには、農地の集約・集積化を一層促進し、意欲ある担い手へと農地を結びつけていくことが不可欠であり、委員の皆様期待される役割は、これまで以上に大きくなっております。

市としましても、農業委員会の皆様と緊密な連携を図り、本市農業の将来にわたる発展のために施策を推進してまいりますので、皆様の一層の尽力添えを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

結びに、茨木市農業委員会のますますのご発展と皆様方のご健勝ご活躍を祈念いたしまして、お祝いのご挨拶とさせていただきます。

祝 辞

茨木市農業協同組合

代表理事組合長

西 上 聡

この度、第26期茨木市農業委員会委員並びに農地利用最適化推進委員にご就任されました皆様に、心からお祝いを申し上げます。

また、平素より当JJAの事業運営に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。現在、農業を取り巻く環境は、農業従事者の高齢化や担い手不足、遊休農地の増加に加え、異常気象による自然災害や資材・エネルギー価格の高止まりなど、依然として極めて厳しい状況が続いております。

このような中、地域農業を守り、次世代へしっかりとつないでいくことの重要性がますます高まっております。

貴農業委員会におかれましては、農地の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規就農者の確保など、地域農業の発展に欠かせない重要な役割を担われており、そのご尽力に深く敬意を表します。

当JJAも、地元農産物の販売促進や営農支援を通じて、地域農業のさらなる発展に努めてまいりますので、今後とも格別のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、茨木市農業委員会のますますのご発展と、委員の皆様今後ますますのご健勝、ご活躍をお祈り申し上げまして、お祝いの言葉とさせていただきます。